

株式会社 SkyDrive への出資について ～トランジション領域における空の移動革命に向けた取り組み～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤勝彦、以下「みずほ銀行」）は、「空飛ぶクルマ」(※1) の開発および「ドローンサービス」の提供を行う株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO：福澤知浩、以下「SkyDrive」）に、500 百万円の出資（以下「本出資」）を行いました。本出資は、みずほ銀行の「トランジション出資枠」(※2) によるものです。SkyDrive へはスズキ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長 鈴木俊宏、以下「スズキ」）他も出資しております。

2018 年に創業した SkyDrive は「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現すべく、豊田市を主拠点到「空飛ぶクルマ」の開発、「ドローンサービス」の提供をしています。「空飛ぶクルマ」の開発においては、2020 年に日本で初めて公開有人飛行試験に成功し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与しています。「空飛ぶクルマ」は、現在 3 人乗りの機体を開発中であり、製造パートナーであるスズキとともに、2024 年 3 月よりスズキグループの工場にて製造を開始しました。2025 年の大阪・関西万博でのデモフライトを経て、2026 年以降に型式証明の取得および納品開始によるビジネスモデルの確立を目指しています。

みずほ銀行は、環境・社会の持続性向上に資する領域（トランジション領域）におけるお客さまの挑戦をサポートすべく、シード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）の段階から、トランジション領域にてお客さまが関与するプロジェクト等に戦略的に出資することで、お客さまと機会とリスクを共有し、広く環境・社会の持続性向上に資する社会的価値をお客さまと共創していくことを目指しています。

「空飛ぶクルマ」は既存のモビリティと比較して直線的な移動による移動距離・所要時間の大幅短縮やモビリティとしての高い利便性がありながら、電動航空機として化石燃料を使用せず、低騒音での飛行が可能になるため、航空機産業の新たな形態として商用化・市場拡大が期待されております。将来的に重要なモビリティインフラとなることを見越し、業界の垣根を超えた連携が国内外で進んでおり、みずほ銀行も空飛ぶクルマの社会実装の早期実現に向け、お客さまとともに経済・社会へ貢献できるよう取り組みを推進しています。(※3)

みずほ銀行は SkyDrive およびそのパートナー企業とともに、空飛ぶクルマが国内外で広く普及する取り組みを進め、市場の開拓・成長を後押しし、日本における航空機産業の発展や新しいモビリティ社会の発展に挑戦していきます。

※1 空飛ぶクルマ

回転翼機型の「マルチローター」及び固定翼機型の「垂直離着陸航空機」の総称。いずれの機体タイプも垂直離着陸が可能な電動航空機で、将来的には自律運航を見込む。諸外国では、Advanced Air Mobility (AAM) と呼称されることが多い

※2 トランジション出資枠

お客さまが実施するシード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）等の開発段階や創業段階にあるトランジション領域に関するプロジェクト等に対し、戦略的、且つ、機動的に投資するための株式出資枠。戦略的且つ機動的な出資判断を行うために、みずほ銀行産業調査部やみずほリサーチ&テクノロジーズを中心に、長年培ってきた〈みずほ〉のトランジション領域における産業知見や環境技術知見を最大限に活用

※3 みずほ銀行プレスリリース

空飛ぶクルマの運航実現に向けた事業性評価・検証の実施について ～みんなで成功させよう！ 空飛ぶクルマの世界 in 関西エリア～

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230830_2release_jp.pdf

【SkyDrive の概要】

会社名	株式会社 SkyDrive
本社所在地	愛知県豊田市拳母町 2-1-1
設立	2018年7月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
事業内容	・空飛ぶクルマの開発 ・各種ドローンサービスの提供
URL	https://skydrive2020.com/

以上